

【平成22年度事業報告書】

1. 企業支援事業

1. 収支決算額

- 収入決算額:27,383,560円(予算額:28,083,000円)
(事業収入1,796,560円、国庫補助金1,900,000円、県補助金670,000円、市負担金23,017,000円)
- 支出決算額:24,685,567円(予算額:28,083,000円)
(うち、651,000円は固定資産に振り替え)

2. 事業の成果

- ・一昨年から続くリーマンショック以降の経済の不安定な状況が続く中で受注促進を推進し、37件の成約が確定した。また、交渉継続中の案件を含め、受注斡旋件数518件を得ることができた。
- ・各種展示会へ地域企業と共同出展し、燕三条地域のものづくりのPRと受注促進を推進した。
- ・首都圏在住の産業振興アドバイザーによる企業誘致活動を25回行った。

3. 実施事業

(1) 企業支援事業

(収入決算額11,000,000円、支出決算額9,643,871円
うち651,000円は固定資産に振り替え)

①受注促進事業

1)企業訪問による受注促進

県外企業訪問を中心に地域企業技術をPR。受注促進と新分野開拓を推進した。

i)引き合い件数 (件)

| | 受注斡旋 | | | | | 各種相談 |
|------|------|------|--------|-----|-------|------|
| | 成約 | 見積依頼 | 対応企業紹介 | 不成約 | 引合い件数 | |
| 22年度 | 37 | 49 | 422 | 10 | 518 | 140 |
| 21年度 | 43 | 70 | 437 | 12 | 562 | 189 |

ii) 企業との受発注打合せ件数 (件)

| | 地域内(市内)企業訪問 | 地域外(県内)企業訪問 | 県外企業出張訪問 | 県内企業来室打合せ | 県外企業来室打合せ |
|------|-------------|-------------|----------|-----------|-----------|
| 22年度 | 501 | 27 | 89 | 160 | 158 |
| 21年度 | 510 | 20 | 65 | 252 | 182 |

2)販路開拓アドバイザー活動

首都圏における受発注促進事業を効率的に進めるため、3名のアドバイザーを委嘱し、展示会での販路開拓などの活動を行った。

3)登録企業約500社へ向け、受発注情報「産業振興部ニュース」の発行(全19回)

4)販路開拓アドバイザーによる市場動向報告会の開催

- ・日時:平成23年2月25日(金)午後1時20分～午後4時
- ・会場:リサーチコア 7階 マルチメディアホール
- ・参加者数:28名

②地域ものづくり支援事業

各地で開催された工業技術見本市に出展し、地域企業の製造品サンプル・新商品等を展示PRし、受注拡大を図った。

1)見本市への出展

| 出展した展示会名称 | 開催期間 | 入場者数(人) | 各種照会件数(件) |
|------------------|-----------|---------|-----------|
| 第14回機械要素技術展(東京) | 6/23～6/25 | 84,353 | 65 |
| テクニカルショウヨコハマ2011 | 2/2～2/4 | 30,176 | 110 |
| 第15回おおた工業フェア | 2/3～2/5 | 6,867 | 92 |

2)新聞・展示会出展者名簿への地域技術PR広告の掲載(日刊工業新聞に6回掲載)

③専門家派遣事業

地域企業が抱える問題解決のため、専門家を直接企業へ派遣して助言を行った。

指導回数:39件(21社)、指導者数:17名

④異業種交流グループ活動支援

グループ登録数 20グループ

1. 企業支援事業

(2)産業技術ネット構築事業

(収入決算額 4,260,000 円、支出決算額 4,051,412 円)

西日本最大の機械・金属系展示会「関西機械要素技術展」に販路開拓アドバイザーと連携しながら関西の企業を中心に情報発信を行なうため地域企業5社と共同出展し、来場者及び出展者に対して当地域の技術をPR・技術情報交流を進め、「新規取引先の開拓」「企業間連携の実現」の推進を行った。

また、出展後、当地域に関心を示した企業に対して販路開拓アドバイザーと共にフォローアップ活動を展開した。

展示会名称 第13回関西機械要素技術展

| | | | |
|------|---------------------|----|---|
| 会期 | 平成22年10月6日(水)～8日(金) | | |
| 会場 | インテックス大阪 | | |
| 入場者数 | 31,498人 | | |
| 実績 | 商談成立 | 0 | 件 |
| | 見積依頼 | 1 | 件 |
| | 企業紹介 | 28 | 件 |
| | その他(名刺交換等) | 94 | 件 |

(3) 産業立地支援事業

(収入決算額 1,091,000 円、支出決算額 893,860 円)

首都圏在住で当地域の企業動向に精通した中小企業診断士3名を企業誘致アドバイザーとして委嘱、各種展示会や独自の情報収集により選定した企業を訪問し、当地域を中心とした技術紹介や進出後のメリットの説明、決め細やかなアフターケアなどのセールスポイントをPRし企業誘致を行った。

企業誘致活動 25件

(4) 支援情報事業

(収入決算額 11,032,560 円、支出決算額 10,096,424 円)

①企業向けパソコン講座の開催

1) 「画像編集基礎講座」

- ・期日:平成22年4月16日(金)～4月27日(火) (全4回)
- ・講師:IT サポーター田辺 信一 ・参加者 15名

2) 「Excelを使って学ぶ原価計算/原価管理講座」

- ・期日:平成22年6月4日(金)～22日(火) (全6回)
- ・講師:タナカビジネスブレイン ・参加者 26名

3) 「Excel 関数講座」

- ・期日:平成22年7月9日(金)～7月21日(水) (全4回)
- ・講師:IT サポーター田辺 信一 ・参加者 16名

4) 「Excelで行う経営分析講座(販売編)」

- ・期日:平成22年9月7日(火)～9月24日(金) (全6回)
- ・講師:タナカビジネスブレイン ・参加者 15名

5) 「ホームページ・ビルダー講座」

- ・期日:平成22年11月2日(火)～19日(金) (全6回)
- ・講師:IT サポーター田辺 信一 ・参加者 30名

6) 「最先端のITを駆使した販売促進セミナー」

- ・期日:平成22年12月1日(水)～7日(火) (全3回)
- ・講師:イーンスパイア(株) ・参加者 14名

7) 「動画編集基礎講座」

- ・期日:平成22年12月18日(土) (全1回)
- ・講師:(株)アイサポート ・参加者 24名

8) 「Excelマクロ/VBA入門講座」

- ・期日:平成23年2月8日(火)～17日(木) (全4回)
- ・講師:IT サポーター田辺 信一 ・参加者 9名

9) 「初心者のためのホームページ作成 HTML/CSS 講座」

- ・期日:平成23年3月3日(木)～3月22日(火) (全6回)
- ・講師:IT サポーター田辺 信一 ・参加者 18名

②情報関連機器の貸出

| 貸出機器名 | 貸出件数 | 料金 | 備考 |
|----------|------|----------|--------------|
| パソコン | 10件 | 374,000円 | 情報研修室、貸出し用PC |
| プロジェクタ 他 | 8件 | 23,000円 | |

③ビジネス情報等の提供

センターホームページに企業向けの支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。
・ビジネス情報掲載件数 345件

④メールマガジンの発行

・毎月2回 年間24回配信 ・掲載情報件数 351件
・3月末メルマガ配信登録者数 540件

1. 企業支援事業

⑤IT サポート支援

企業からの IT 関連の相談に対し支援を行った。

・相談、支援申込み事業所等 19 件 ・相談、支援回数 23 回

⑥IT 出張講座・受託研修

企業単位での IT 関連講座等を開催した。

・事業所数 1 社 開催回数 1 件

⑦研修・教育用ビデオテープの貸出し

・貸出し件数 107 件 ・貸出し本数 338 本

⑧書籍・資料・文献等の閲覧

各種技術・情報等に関する図書・文献を収集し、資料室に整理し閲覧に供した。

⑨三条市・燕市兼用の産業カレンダーの発行

A3 サイズ 3,500 枚、カードサイズ 5,500 枚を作成し頒布した。

⑩新商品、注目商品の紹介

燕三条地域企業の新商品や注目商品をホームページ「快適！ファミリー100%」にて紹介した。

・年間紹介商品数 2 品

2. 技術高度化支援事業

1. 収支決算額

○収入決算額:28,941,370円(予算額:27,379,000円)

(県補助金 5,000,000 円、内田エネルギー科学振興財団助成金 700,000 円、市負担金 16,673,000 円、事業収入 6,568,370 円)

○支出決算額:26,614,176円(予算額:27,379,000円)

2. 事業の成果

- ・基礎および応用のための技術習得を目的に技術研修を9講座行い、延べ180名(定員120名)が受講し、地域企業の基礎技術向上を進めた。また管理技術者を育成のためのセミナーを行い、14名が聴講した。
- ・経済の低迷が続く中、休業を余儀なくされている企業の従業員を合同教育訓練するための講習会を実施し、延べ122社、2,876名が受講した。
- ・引き続き新規分野への参入を図るため、昨年度からの継続で航空機産業参入研究会を開催した。21社22名の参加により、4回の研究会を実施し、航空機産業参入への支援を行った。
- ・技術PRと販路開拓を目的に、東京都大田区で「にいがた燕三条技術交流展in東京」を開催した。当地域企業の55社を中心に全体で76団体が出展し、2日間の来場者は1,174名となり、多くの開発や技術連携のきっかけを作った。
- ・主に新潟県内の大学生を対象とした、学生ビジネスプランオーディションを行い、47件の提案から1件の最優秀賞、2件の優秀賞などを選定し、商品化のためのフォローを行った。
- ・接合技術研究会など2つの技術研究会を組織し、会員は延べ60社、71名で合計9回の研究会を行った。

3. 実施事業

(1)企業人材育成事業

(収入決算額:3,240,000円、支出決算額:2,217,461円)

①技術研修事業

内容:地域企業で従事する初心者および中堅技術者向けの各種技術研修を実施し、地域企業の技術力向上を進めた。

2. 技術高度化支援事業

| 研修事業名 | 募集人数 | 実績人数 | 開催時期 |
|---------------------------|------|------|------------|
| 1.金属材料基礎講座 (2時間×12回) | 20 | 24 | 5/18～8/10 |
| 2.図面の見方・描き方入門講座 (2時間×12回) | 20 | 32 | 8/17～9/30 |
| 3.機械設計基礎講座 (2時間×12回) | 15 | 11 | 6/3～8/5 |
| 4.プレス加工集中講座 (3時間×3回) | 15 | 21 | 11/24～12/2 |
| 5.プラスチック成形技術講座 (3時間×4回) | 10 | 17 | 9/7～9/21 |
| 6.溶接技術集中講座 (3時間×3回) | 10 | 17 | 6/2～6/16 |
| 7.切削加工技術講座 (3時間×3回) | 10 | 18 | 8/19～9/2 |
| 8.表面処理技術講座 (3時間×3回) | 10 | 26 | 11/2～11/12 |
| 9.知財活用技術講座 (3時間×3回) | 10 | 14 | 2/18～2/24 |
| 合計 | 120 | 180 | |

②管理技術者育成セミナー

内容:現場リーダーおよび管理職級技術者のため、VEやVAなどの開発管理手法を習得するための講習会を実施した。

講習日:平成23年3月2日,3日,8日 3時間/日

講師:技術経営研究センター代表 松井武久氏 技術士(機械部門)

講習タイトル:「国際競争力の激しい時代に製造業が生き残り発展するためのVE(価値工学)」

受講者数:14名

(2) 緊急雇用安定助成金制度対象事業

(収入決算額:1,940,000円 支出決算額:1,822,208円)

長引く経済の低迷の中休業を余儀なくされている企業を対象に、昨年度に引き続き生産管理やビジネスマナーなど1日単位の講習会を開催した。

平成22年4月2日～10月29日(全36回) 延べ受講者数:2,876名

(3) 技術支援事業

(収入決算額:21,052,370円 支出決算額:20,033,242円)

①新技術・新材料応用研究会 (地域企業28社28名)

主にプレス加工や研磨技術など優れた材料技術を持つ企業からの講演

等による合計3回の研究会を行った。

②航空機産業参入研究会および航空宇宙産業技術展出展 (地域企業21社22名)

航空機および航空関連産業分野への参入を目的に、(株)ATR ヤマト代表取締役の吉田宗玄氏をコーディネーターに迎えスクラップ部品を使った記念品の製作の開発などのため、4回の研究会を実施した。また、会員企業とともに航空宇宙産業技術展に出展した。

③専門家および技術職員による企業指導、コーディネート

調理鍋の伝熱特性や画像解析技術等に関する技術相談について、専門の研究者や技術者を招聘し10回の技術指導を実施した。併せて職員は69件の技術相談に対応した。

④知的所有権相談事業

ジーベック国際特許事務所の所長で弁理士の清水善廣氏を相談員に招聘し、特許、実用新案、商標、意匠などの知的所有権について、合計48回(23社)の相談を行い、意匠や実用新案などの出願を7件、登録を7件につなげた。

⑤にいがた燕三条技術交流展 in 東京2010の開催

昨年度に引き続き優れた技術力を有する当地域企業のPRと販路開拓を行うため、首都圏の展示ホールを借り切り、技術展示会を開催した。

会期:平成22年12月9日(木)～10日(金)

会場:大田区産業プラザPiO(東京都大田区南蒲田1-20-20)

出展者:76団体(燕三条地域企業55、県外企業6、自治体2、商工団体4、業界団体3、大学・研究機関5、主催者1)

入場者数:1,174人

各種照会件数:195件(試作、図面照会、見積もりなど依頼等)

⑥ビジネスプランオーデイション事業

新潟県内の学生が燕三条地域に関連する商品やイベント企画などのビジネスプランを考えることで、当地域の関心を深めるとともに、当地域企業の活性化を図るためのコンテストを行った。応募総数は47件で、最優秀賞1件、優秀賞2件を選出し、これらの優秀なアイデアについては試作などを進め当地域企業等とマッチングを進めた。

2. 技術高度化支援事業

(4) 産学共同開発事業

(収入決算額:2,709,000 円 支出決算額:2,541,265 円)

①接合技術に関する研究会(指導者 1名 地域企業 40社 49名)

指導者に長岡技術科学大学 宮下幸雄准教授を迎え、主に低ひずみで高品質な接合技術に関するセミナーを5回実施した。また溶接技術に関する工場見学会も実施した。さらに、TIG 溶接試験での溶接変形に関する試験を行い、溶接変形状態を評価した。

②ソフトエネルギー研究会(指導者 1名 地域企業 20社 22名)

指導者に長岡工業高専の片桐裕則教授を迎え、太陽電池の現状やその周辺技術についての4回のセミナーを行った。また、メガソーラー発電装置の見学会も実施した。

【機械設備利用状況】

| 設備名称 | 22年度 | 21年度 |
|---------------|------|------|
| 多関節三次元デジタイザー | 8 | — |
| 蛍光X線分析装置 | 26 | 50 |
| レーザーマーカ | 25 | 16 |
| 走査型電子顕微鏡 | 30 | 27 |
| 高速度デジタルビデオカメラ | 4 | 0 |
| デジタルマイクロスコープ | 15 | 15 |
| 立型マシニングセンタ | 2 | 1 |
| 万能塑性加工試験機 | 9 | 3 |
| Dr. HIP装置 | 78 | 49 |
| 雰囲気熱処理装置 | 3 | 2 |
| 3次元デジタイジング装置 | 9 | 16 |
| 3次元CADシステム | 11 | 10 |
| FEM解析システム | 0 | 1 |
| 切れ味試験機(包丁・鋏) | 2 | 1 |
| 合計 | 222 | 191 |

3. デザイン企画事業

1. 収支決算額

○収入決算額:16,817,000円(予算額:16,367,000円)

(事業収入 1,100,000円、市負担金 15,717,000円)

○支出決算額:14,526,623円(予算額:16,367,000円)

2. 事業の成果

- ・地域企業に対し、36件45回の商品企画・デザインに対する個別相談へのアドバイスをを行った。
- ・地域のブランド力向上のため、公的デザイン賞取得取り組み支援を行うと共に、アジア最大規模のデザインイベントに出展し、地域のデザイン力の高さをPRした。
- ・企業ロゴ、パッケージなど、地域に必要とされるビジュアルデザインに対する意識向上のためのイベントを開催した。
- ・成功している企業は経営者のデザイン意識が高いことから、デザインと経営をキーワードとするフォーラムとワークショップを開催した。
- ・地域のデザイン関連団体、教育機関の活動支援のため、6回の商品企画・デザインギャラリー貸出を行った。
- ・地域デザイン研究会、県内デザインネットワークの活動支援を行った。
- ・提案性が高いヒット商品を生み出すため、新商品企画開発支援事業を開催、7社27名が参加した。また事業内で開発された商品の販路開拓支援を行い、262件の引き合いを得た。

3. 実施事業

(1) デザイン支援事業

(収入決算額 9,596,000 円、支出決算額 8,597,050 円)

①デザイン開発支援

1) 商品企画、デザイン個別相談

- ・内容:地域企業からの商品企画・デザイン相談に対し、外部アドバイザーによる個別相談会の開催及び当センター職員が個別対応し、助言を行った。
- ・相談件数:36件45回

2) デザイン評価制度取り組み支援、情報発信

- ・内容:地域のブランド力向上のため、優れたデザインの公的評価制度(グッドデザイン賞)取得への取り組みを支援すると共に、二次審査会場であり、アジア最大規模のデザインイベントである「GOOD

3. デザイン企画事業

DESIGN EXPO」に出展し、地域のデザイン力の高さをPRした。また、受賞商品のPRと取組み企業の拡充を図るため、受賞発表会をデザインギャラリーイベントとして行った。

『2010年度グッドデザイン賞応募説明会』開催

- ・開催日:平成22年5月18日
- ・会場:燕三条地場産業振興センター
- ・特別講演:「新潟地場産業のGマークを考える」
- ・講師:(株)コボ 代表取締役 山村 真一 氏
(財)日本産業デザイン振興会 浅賀 武 氏
- ・参加者:27名

『GOOD DESIGN EXPO 2010』

- ・開期:平成22年8月27日～29日
- ・会場:東京ビッグサイト
- ・来場者数:44,325人
- ・展示数:11社23点

『GOOD DESIGN AWARD2010 燕三条受賞商品発表会』

- ・開催日:平成22年12月13日
- ・会場:リサーチコア3F デザインギャラリー
- ・受賞数:8社、13点
- ・特別講演:「むすぶデザイン」
- ・講師:(有)ザートデザイン代表 安次富 隆 氏
- ・参加者:70名

3) 外部専門家とのビジネスマッチング支援

「新潟DNA『リ・デザインエキシビションII』」開催

- ・内容:パッケージ・ロゴマーク・HPなどデザインを見直したい地域企業を公募。応募のあった4社に対しデザイナーとのマッチングを行い、一般聴講者の前で公開プレゼンテーションを行った。
- ・開期:平成23年3月28日
- ・会場:リサーチコア3F デザインギャラリー
- ・来場者:50人

②デザインマインド向上支援

1) デザイン経営力向上セミナー

- ・内容:次代の経営者にデザインの重要性を促すことを目的に、企業

講師を招いたフォーラムと少人数のワークショップを開催した。

公開フォーラム『デザイン経営 菊水流』

- ・開催日:平成22年7月6日
- ・会場:燕三条地場産センター
- ・講師:菊水酒造(株) 代表取締役社長 高澤 大介 氏
- ・参加者:110名

『デザイン経営塾・前期』

- ・開期:平成22年7月21日～8月31日(全5回)
- ・講師:菊水酒造(株) 代表取締役社長 高澤 大介 氏
(株)環境構造研究システム 代表取締役 中村 正樹 氏
(株)兼古製作所 代表取締役 兼古 耕一 氏
峯 特許事務所 弁理士 峯 唯夫 氏
(株)コボ 代表取締役社長 山村 真一 氏
- ・参加企業:5社

『デザイン経営塾・後期』

- ・開期:平成22年11月1日～12月22日(全5回)
- ・講師:伊那食品工業(株) 代表取締役社長 井上 修 氏
(株)環境構造研究システム 代表取締役 中村 正樹 氏
(株)能作 代表取締役社長 能作 克治 氏
峯 特許事務所 弁理士 峯 唯夫 氏
前(株)マルト長谷川工作所 相談役 長谷川 晴生 氏
- ・参加企業:7社

2) デザインギャラリー活用支援

- ・内容:地域美術団体・教育機関のギャラリー活用に対する支援を行った。

| 名称/開期/内容 |
|---|
| 『キャノンフォトクラブ新潟県央』 平成22年7月17日～19日 絵画・造形の展示 |
| 『アミューゼ写真絵画展』 平成22年9月18日～20日 写真の展示 |
| 県央 PHOTO『はな』 平成22年9月24日～26日 写真の展示 |
| 『6人の設計やによるひと味違う作品展』 平成22年10月10日～11日 建築の作品パネル展示 |

3. デザイン企画事業

『山田昌男写真技法講座生作品展』

平成 22 年 11 月 12 日～14 日 写真の展示

『県立三条テクノスクール修了作品展』

平成 23 年 2 月 4 日～2 月 6 日 三条テクノスクールの終了作品の展示

③デザイン団体活動支援

1) 燕三条地域デザイン団体の活動支援

・つばめデザイン研究会事務局

総会・例会:2 回、視察:1 回

・三条デザイン研究会事務局

総会・例会:6 回、役員会:5 回、分科会:15 回

2) 県内デザインネットワーク活動支援

・県内デザイン 5 団体のネットワーク(新潟DNA)と協力し、イベントを開催した(前述)

(2) 新商品企画開発支援事業

(収入決算額7,221,000円、支出決算額5,929,573円)

内 容:新商品開発の入口から出口までを継続支援し、提案型新商品開発の仕組みづくりの確立を目的としたワークショップを開催した。
また、事業内で開発された商品の販路開拓のため展示会に出展した。

・コーディネータ:(株)クルー代表取締役 馬場 了 氏

・知財コーディネータ:峯特許事務所 弁理士 峯 唯夫 氏

①商品企画ワークショップ開催

・期 間:平成22年11月19日～平成23年3月22日(全10回)

・参加企業:4社(12名)4テーマ

②デザイン・知財戦略ワークショップ開催

・期 間:平成 22 年 4 月 12 日、5 月 20 日(全 2 回)

・参加企業:3 社(15 名)4 テーマ

③共同開発商品販路開拓・情報発信

『インテリアライフスタイル・リビング』出展

・開 期:平成 22 年 11 月 24 日～26 日

・会 場:東京ビッグサイト

・来場者数:19,758 人

・展示品:2 社 4 アイテム

・引き合い件数:262 件

4. 燕三条ブランド推進事業

1. 収支決算額

○収入決算額:121,102,193円(予算額:135,422,000円)

(国庫補助金 11,092,069 円、県補助金 1,000,000 円、市補助金△7,485,876 円、市負担金 33,270,000 円、繰越金 83,226,000 円)

○支出決算額:111,270,781円(予算額:135,422,000円)

(うち、36,699,039円は固定資産に振り替え)

2. 実施事業

(1) 委員会等運営事業

(収入決算額 3,842,000 円、支出決算額 2,524,343 円)

①燕三条ブランド検討委員会の開催

昨年に引続き三条・燕地域の商工会議所、商工会、農協、観光協会などの代表や役員等で委員会を組織し、実行委員会から提案のあった燕三条ブランドの事業案について検討・承認を行った。

| 開催日 | 協議題 |
|----------------------------|--|
| 第 7 回 平成 22 年 5 月 12 日 | ・燕三条ブランド シンボルマーク&ロゴタイプ・キャッチフレーズについて ・JAPAN ブランド育成支援事業について |
| 第 8 回 平成 22 年 11 月 16 日 | ・平成 23 年度燕三条ブランド事業について |
| 第 9 回 平成 23 年 3 月 29 日 | ・平成 23 年度燕三条ブランド事業推進体制について |

②燕三条ブランド実行委員会(グループリーダー会議)の開催

燕三条ブランド検討委員会の下部組織となるプロジェクトグループリーダーを中心とした燕三条ブランド実行委員会において、ブランド構築に向けた取り組みを推進した。

| 開催日 | 協議題 |
|------------------|--|
| 平成 22 年 4 月 26 日 | ・燕三条ブランドIDマークについて ・メッセピア屋上看板等のロゴについて ・JAPAN ブランド育成支援事業について |
| 平成 22 年 7 月 23 日 | ・プライドプロジェクトの再編について |

4. 燕三条ブランド推進事業

| | |
|-------------------|--|
| | ・商品開発事業について |
| 平成 22 年 8 月 10 日 | ・プライドプロジェクト再編に伴う事業の進め方について ・グループ別協議 |
| 平成 22 年 10 月 19 日 | ・平成 23 年度燕三条ブランド事業について ・三条燕インターチェンジ名称変更要望について |
| 平成 23 年 1 月 24 日 | ・燕三条ブランドマーク使用基準について ・JAPAN ブランド事業に係る見本市への出展について |
| 平成 23 年 3 月 15 日 | ・平成 23 年度燕三条ブランド推進体制について |

③燕三条ブランドコーディネータ会議の開催

燕三条プライドプロジェクトの各グループ間の事業調整を図るため、ブランドコーディネータ会議を開催した。

| 開催日 | 協議題 |
|------------------|---|
| 平成 22 年 12 月 7 日 | ・燕三条ブランド推進体制について ・商品開発について |
| 平成 23 年 1 月 17 日 | ・燕三条ブランド使用基準について ・JAPAN ブランド事業に係る見本市への出展について |

(2)市場調査等実施事業

(収入決算額 1,730,000 円、支出決算額 1,018,984 円)

うち 454,600 円は固定資産に振り替え)

①ブランド名称、マークの商標登録を出願した。

②燕三条の農産品 PR

燕三条の農産品 PR のため、プロジェクトで選定した「ナノミストシャインマスカット」及び「ル・レクチェ」を雑誌「料理王国 100 選」に応募し選定を受けた。(料理王国 23 年 1 月号掲載)

(3)プロジェクトデザイン支援事業

(収入決算額 423,000 円、支出決算額 421,560 円)

①「燕三条ブランド推進セミナー」の開催

- ・主 催 レストラングループ
- ・開 催 日 平成 22 年 4 月 21 日
- ・会 場 リサーチコア
- ・参加者数 89 人
- ・講演テーマ 「場所文化を活かした真に豊かな地域づくり」
- ・講 師 合同会社場所文化機構 後藤健市氏

②ツーリズム講演会の開催(プライドプロジェクトメンバー対象)

- ・主 催 ツーリズムグループ
- ・開 催 日 平成 22 年 4 月 28 日
- ・会 場 リサーチコア
- ・参加者数 29 人
- ・講演テーマ 「地域づくりはチョモランマである」
- ・講 師 フリーライター 橋本啓子氏

(4)広報活動事業

(収入決算額 4,221,000 円、支出決算額 3,287,533 円)

①燕三条観光パンフレット作成

燕三条の認知度を活かすため、三条市と燕市の統合版観光パンフレットを作成し、両市へ配布した他、地場産センターの各施設に配置した。

②燕三条ブランド通信

燕三条エフエム放送(株)の番組枠を取得し、プロジェクトの活動を発信した。

③燕三条観光ホームページ「夢創紀行」による観光情報の発信

④ツーリズム講演会の開催

- ・主 催 ツーリズムグループ及び三条地名研究会
- ・開 催 日 平成 22 年 11 月 3 日
- ・会 場 諸橋轍次記念館
- ・参加者数 85 人
- ・講演テーマ 「越後の女たち～八十里越えのかなたへ～」
- ・講 師 作家 金森敦子氏

4. 燕三条ブランド推進事業

⑤ 燕三条まちあるき

三条まちあるき連絡協議会主催の“燕三条ものづくりの心に出会う「まちあるき」”をテーマとした様々な体験、観賞、食などのプログラムを集めたイベントの企画、調整に参画した。

1) 2010 春

- ・開催期間 平成 22 年 3 月 27 日～5 月 22 日
- ・コース数 10 コース
- ・開催数 23 回
- ・参加延人数 301 人

2) 2010 秋

- ・開催期間 平成 22 年 9 月 23 日～11 月 14 日
- ・コース数 11 コース
- ・開催数 16 回
- ・参加延人数 376 人

(5) 展示会出展事業

(収入決算額 120,000 円、支出決算額 119,740 円)

旅フェア 2010 に燕商工会議所、燕市、三条市と共同で新潟県観光協会ブースに出展し、“ものづくりの心に出会うまち「燕三条」”をコンセプトに、産業観光とまちあるきを PR するとともに、燕三条製品、食品の販売を行った。

- ・期間 平成 22 年 5 月 28 日～30 日
- ・会場 幕張メッセ
- ・来場者数 120,832 人

(6) 次世代産業創造プロジェクト事業

(収入決算額 27,175,000 円、支出決算額 27,111,939 円
全額を固定資産に振り替え)

本事業では、燕三条地域の加工技術と、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、新潟県工業技術総合研究所等との連携による産学官連携プロジェクトにより、回転翼(ブレード)にマグネシウム合金、アルミニウム合金、純チタン材の 3 種類の金属材料を使用し、市街地にも設置可能なマイクロ風力発電装置の試作・開発を行った。

今後は、試作風車の調整及び改良を加えながら、風向風速・主軸回転数・発電量等の定量的評価、強風時の安全性・信頼性、騒音・振動、電波

障害等の環境性能を総合的に評価し、実用化に向けた加工プロセス技術開発による「金属加工産業集積地」としての新分野進出を目指す。また、試作風車の運用により環境の「見える化」を推進しながら、各地域に合った自然エネルギー利用技術を提案していく予定である。

(7) 地場産業振興センター名称変更事業

(収入決算額 16,860,000 円、支出決算額 12,827,197 円
うち 8,082,500 円を固定資産に振り替え)

1) ハード面

- ・屋上広告塔パネル看板の改修(メッセピア)
- ・名称壁面箱文字の改修(メッセピア)
- ・正面玄関新名称看板の設置(メッセピア)
- ・矢印誘導案内看板の改修(一般道からの進入部分)
- ・植込みサイン箱文字の改修(メッセピア)
- ・正面玄関シート文字の改修(メッセピア、リサーチコア)
- ・自立サインの改修(リサーチコア)
- ・シート文字の改修(3 階デザインギャラリーガラス面)
- ・電柱案内看板他(7 カ所)

2) ソフト面

- ・法人登記、印鑑、ゴム印等の変更
- ・関係団体等への変更案内書の発送(1,922 通)
- ・封筒、パンフレット、領収書等の変更
- ・施設利用 PR 広告(新聞及び学会誌への掲載、両市広報紙)

(8) 燕三条ブランドポータルネットワーク事業

(収入決算額 46,565,124 円、支出決算額 46,501,124 円)

燕三条駅及び燕三条地場産業振興センターを地域情報の発信拠点と位置付け、ICT技術を活用した情報発信システム、コンテンツの整備及び燕三条駅観光物産センターの改修を行った。

施設の愛称については、選考投票により「燕三条Wing」に決定した。

① 情報発信コンテンツの整備

- ・燕三条観光 PR 用動画の製作
- ・燕三条観光ホームページの開設

② 情報発信機器・システムの整備

- 1) 燕三条駅観光物産センター「燕三条Wing」

4. 燕三条ブランド推進事業

- ・休憩・無線フリースポットコーナー(テーブルセット 5 台・カウンター1 式)
- ・パソコンコーナー(PC 設置数 4 台)
- ・タッチモニター(46 インチ 設置数 1 台)
- ・大型モニター(60 インチ 設置数 1 台)
- ・プロジェクタースクリーン(80 インチ 設置数 2 台)

2) 燕三条地場産業振興センター

- ・無線フリースポットコーナー
(メッセピア 1 階 交流サロン・レストラン)
(リサーチコア 3 階 デザインギャラリー 7 階 サロン)
- ・タッチモニター (メッセピア 1 階 46 インチ 設置数 1 台)

③ 展示販売業務

燕三条Wingにおける委託販売品は、産業観光の推進を図るため、工場見学の受入を可能とすることを基本的要件とし、商品の見直しを行った。

(9) JAPAN ブランド事業

(収入決算額 20,166,069 円、支出決算額 17,458,361 円
うち、1,050,000 円は固定資産に振り替え)

① 燕三条ブランド商品開発事業

燕三条ブランド商品開発にかかるデザイン図の作成及び燕三条ブランドマーク使用時の監修等を委託した。

② 展示会出展事業

燕三条製品の PR、販路拡大のため国内外の展示会に出展した。

1) エコプロダクツ 2010

- ・期間 平成 22 年 12 月 9 日～11 日
- ・会場 東京ビッグサイト
- ・来場者数 183,140 人
- ・出展ブースのコンセプト

燕三条ブランドの基本コンセプトである「オーガニックなライフスタイル」と環境やエコをリンクさせたイメージとした。

2) 東京インターナショナル・ギフト・ショー 春 2011

- ・期間 平成 23 年 2 月 1 日～4 日
- ・会場 東京ビッグサイト
- ・来場者数 202,348 人
- ・出展ブースのコンセプト

展示ブース内に家を造作し、庭やキッチン、食卓、リビング、和室などに

燕三条製品を展示して使用シーンを表現した。

3) アンビエンテ 2011

- ・期間 平成 23 年 2 月 11 日～15 日
- ・会場 ドイツ フランクフルト国際見本市会場
- ・来場者数 144,000 人
- ・出展ブースのコンセプト

燕三条ブランドの基本コンセプトである「オーガニックなライフスタイル」をイメージした。

5. 需要開拓事業

1. 収支決算額

- 収入決算額:222,857,697円(予算額:228,836,000円)
(市補助金 49,290,791円、県補助金 1,089,459円、
事業収入 172,476,927円)
- 支出決算額:101,770,896円(予算額:115,248,000円)
(うち、11,993,520円は固定資産に振り替え)

2. 事業の成果

- ・展示即売事業では、消費者ニーズに合わせた市場性のある販売品目の品揃え及び地場産品の良さを、自主イベントの開催や各種イベントへの積極的な参加を通じ、県内外の消費者にPRすることで地場産品の販路拡大に努めた。また、燕三条駅観光物産センター事業では、昨年12月に店舗を改装し、イメージを一新したことにより来館者数が、前年度四半期と比べ大幅に増加し、燕三条のイメージアップに貢献できた。
- ・貸館事業では、地域内における深耕開拓・新規開拓に向けた訪問による営業活動を行うと共に、地域外の新規顧客開拓についてはDM発送を行った。
- ・また首都圏におけるアンテナショップ運営も2年目を迎え、さらなる燕三条製品の販売や紹介を通じ、広く産地イメージの発信を行うことで、消費者の購買動向などの情報収集と地場産品のPRにより販路拡大を行った。さらに、買換需要創出事業(包丁・鍋・洋食器の下取り)では、良質な地元製品の販売促進を図るとともに、地域生活者に対し地場産品の再認識を促した。
- ・燕三条ネットショップ構築事業では、旧サイトと比較して2倍以上の商品を掲載するとともに、購入者が感想を書き込むことができる機能などの新機能を備えた結果、前年同月期を上回る売上に繋がった。

3. 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額 86,756,725円、支出決算額 20,150,632円)

- ①展示: 341小間 収入 7,283,965円
- ②即売: 売上金額(197,451,273円) 収入 73,140,115円
- ③年末刃物特価市 小間料収入 1,150,000円

【自主イベント等の内容】

| イベント名称 | 開催期間 | 来場者数 |
|------------|------------------|-----------|
| GW フェア | H22.5/1~5(5日間) | 約 11,750人 |
| お盆フェア | H22.8/13~16(4日間) | 約 14,820人 |
| 年末刃物特価市 | H22.12/3~5(3日間) | 約 11,440人 |
| 観光バス昼食・立寄り | 通年 | 約 1,110台 |

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業収入 21,346,755円、支出決算額 10,774,421円)
うち、10,825,500円は固定資産に振り替え)

- ①展示 205小間 収入 1,784,200円
- ②即売 売上 23,741,144円 収入 8,496,810円

(3) 貸館事業

(事業収入 61,108,214円、支出決算額 2,487,198円)
うち、388,500円は固定資産に振り替え)

【会場利用状況】

・施設利用者数:169,766名(前年度 177,650名)

・施設利用率: (単位:%)

| 施設名 | 22年度 | 21年度 |
|---------------|------|------|
| メッセピア | | |
| 1F:多目的大ホール | 24.6 | 31.9 |
| 3F:中会議室 | 33.6 | 32.7 |
| 4F:大会議室 | 39.0 | 46.1 |
| 4F:特別会議室 | 7.9 | 11.1 |
| 4F:小会議室(和室) | 30.1 | 30.1 |
| 5F:総合研修室 | 42.7 | 48.1 |
| 5F:ミーティングルーム | 48.0 | 44.5 |
| リサーチコア | | |
| 6F:研修室 | 28.4 | 30.2 |
| 7F:マルチメディアホール | 25.3 | 31.4 |

5. 需要開拓事業

(4) 農商工連携産地製品販売推進事業

(収入決算額:57,508,567 円、支出決算額 49,934,913 円
うち 779,520 円は固定資産に振り替え)

| 店舗名 | 売上金額 | 収入金額 |
|------------|--------------|-------------|
| えちご燕物産館両国店 | 16,629,461 円 | 5,451,122 円 |
| えちご燕物産館町田店 | 23,778,778 円 | 8,377,611 円 |

【自主イベント等の内容】

| 店舗 | イベント名称 | 開催期間 |
|----|--------------|---------------------------------------|
| 両国 | 開店 1 周年記念フェア | H22.10/8～10(3 日間) |
| 町田 | 新米フェア | H22.10/23～24(2 日間) |
| 町田 | 開店 1 周年記念フェア | H23.3/11～13(3 日間予定) 震災により 11 日のみ開催 |

(5) 地場製品買換需要創出事業

(収入決算額:1,089,459 円、支出決算額 2,178,919 円)

| 場所 | 期間 | 包丁・鍋 | 洋食器 |
|------------|-------------------|-------|-----|
| えちご燕物産館町田店 | H22.6/26～27(2 日間) | 128 | 346 |
| 地場産センター | H22.12/3～5(3 日間) | 1,333 | 570 |
| | 合計 | 1,461 | 916 |

(6) 燕三条ネットショップ構築事業

(収入決算額:5,619,791 円、支出決算額 5,672,479 円)

| 期間 | 注文件数 | 売上金額 |
|-------------------|------|-----------|
| 平成 23 年 2 月 24 日～ | 80 件 | 528,130 円 |

6. 食堂事業(特別会計)

1. 収支決算額

○収入決算額:59,355,145 円

(事業収入 57,476,955 円、雑収入 1,878,190 円)

●支出決算額:61,678,576 円

2. 事業の成果

事業収入は昨年度に比べ減少したが、多目的ホール以外の会場及びレストラン店内でのパーティー売上が 180 万円の増加となった。
貸館利用者の飲食売上が減少したことで全体売り上げの減となった。

3. 実施事業

レストラン売上高の推移

(単位:円)

| 年 度 | 事業収入 | 雑収入 | 合 計 |
|----------|------------|-----------|------------|
| 平成 22 年度 | 57,476,955 | 1,878,190 | 59,355,145 |
| 平成 21 年度 | 60,005,033 | 2,177,936 | 62,182,969 |
| 平成 20 年度 | 60,878,746 | 2,297,244 | 63,175,990 |